



稲穂

豊崎小学校 校長室通信

令和4年10月14日

第7号 文責 久保 亨

学習発表会、大成功！

～子どもたちの頑張りを認め、ほめることの意義～

先日の学習発表会には、多数の保護者の皆様にご来校いただき、感謝申し上げます。校長あいさつでもお話をさせていただきましたが、子どもたちの頑張りを大いに認め、ほめていただけたでしょうか。当日は、その意義について触れませんでした。子どもたちの頑張りを認めたり、ほめたりすることは、子どもたちの「生きる力」の育成に欠かせないものです。そのメリットは、大きく3つあると考えています。

1つ目は、安心感をもたせることです。認めたり、ほめたりし、励ましてくれる人が家庭の中に存在することは、生きていく上で必要不可欠です。家庭が安心できる場所でなければ、家庭以外に安心できる場所を求めるしかありません。そのためゲーム依存になってしまったという事例もあります。



1・2年生のかわいい演技に釘付けです！



3・4年生の元気が炸裂！豊小カーニバル！

2つ目は、子どもたちの自己肯定感を育むことです。自己肯定感をもち、いわゆる自信をもつことの大切さをご存じのとおりです。自信があれば、新たなチャレンジができます。そこでまた自信をつけて新たなチャレンジを…という好循環が生まれます。また、自己肯定感が高い子どもたちは、簡単にくじけません。挫折をバネに、頑張ることができます。

3つ目は、国語力を育むことです。いわゆるコミュニケーション能力の育成です。コミュニケーション能力は、特にこれからの時代、社会集団の中で生きていくために必須の能力です。コミュニケーションをするためには、国語力（語彙力・情緒力・想像力）が必要です。最近、大人でも「すごい」「やばい」などと、たった一言で表現してしまう様子が見られます。そのため、子どもたちの間では、意図したことが伝わらずにトラブルになってしまう事例が多々あります。国語力は、学校だけで身に付けるものではありません。むしろ、学校で国語を学習するための土台となる力は、ご家庭でしか身に付けられないものかもしれません。子どもたちとの会話の中で、何がどのように「すごい」と思ったのかを伝えたり、学習発表会まで何をどのくらい、どのように頑張ったのか、その時の思いはどうだったのかなどを聞いたりするという機会をとおして、国語力が身に付いていきます。



5・6年生の迫真の演技！思わず涙が…。

学校でも、学習発表会等の特別な場合に限らず、日頃から子どもたちの様子をよく見て、その頑張りを認め、励ましていきます。ご家庭でも、ぜひ、機会をとらえて子どもたちに声掛けし、会話を楽しみながら、生きる力を育てていきましょう。